

は じ め に

本県では、県民の皆様が健康で心豊かな活力ある鳥取県をつくるため、「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を目的とする「健康とっとり計画」を策定し市町村をはじめ関係団体等と連携して目標達成のための各種施策を進めてまいりました。

この度、5年毎に実施している県民歯科疾患実態調査を行い、県民の歯科疾患の罹患状況、歯科保健意識の実態を把握し、過去2回の調査結果と比較・分析をすることで今後の歯科保健対策への重要な基礎資料を得ることができました。

また、調査の結果より、80歳以上で20本以上の歯を有する者の割合は、19.4%と前回調査に比べ2.5ポイント増加している一方、歯周病予防に有効な歯間清掃用具の使用率は、約3割であることが明らかになり、県民の歯を健康に保つために今後さらなる歯科保健事業の展開と普及啓発の取り組みを図る所存でございます。

この調査結果が、80歳で20本以上の歯を保つことを目標とした8020運動の推進につながり県民の健康の維持及び増進に役立つことを期待するものであります。

終わりに、今回の調査の実施、分析等に多大な御協力をいただきました関係機関の皆様、また実態調査に御協力いただきました県民の方々と社団法人鳥取県歯科医師会の皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後の一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年3月

鳥取県福祉保健部

部長 田 中 謙